

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年	
460010	X-32/13-B-2-460010	2	後期	【1・2年次生】国際学部国際文化学科	×	×	×	
授業科目				担当教員	【3年次生以上】国際学部国際文化学科	×	×	×
コーポレートファイナンス	鈴木 広樹			【1-3年次生】経営情報学部経営学科	専門	選択	3年	
				【1-3年次生】経営情報学部情報システム学科	×	×	×	
				【4年次生】情報文化学部情報システム学科経営コース	専門	選択	2年	
				【4年次生】情報文化学部情報システム学科情報コース	専門	選択	2年	

授業目的

コーポレートファイナンスの基本的な考え方を理解したうえで、企業価値を評価できるようになることを目的とする。なお、コーポレートファイナンスを理解するに当たっては一定の数学的素養が求められるが、数学が苦手な者も理解できる内容とするよう努める。この講義はディプロマポリシーである「データを重視した論理的な判断ができること」と関連している。

各回の授業内容

第1回 【授】 イントロダクション（企業価値とは、ファイナンスとは） 【前・後】 配布資料の予習復習に4時間 第2回 【授】 価値1（現在価値、割引率、フリーキャッシュフローなど） 【前・後】 配布資料の予習復習に4時間 第3回 【授】 価値2（バランスシートと企業価値、株価算出、PVからNPVなど） 【前・後】 配布資料の予習復習に4時間 第4回 【授】 投資基準1（NPV、IRR、ROC、EVAなど） 【前・後】 配布資料の予習復習に4時間 第5回 【授】 投資基準2（M&A、リアルオプションなど） 【前・後】 配布資料の予習復習に4時間 第6回 【授】 リスクとリターン1（リスク、分散投資、安全資産利子率、効率的ポートフォリオなど） 【前・後】 配布資料の予習復習に4時間 第7回 【授】 リスクとリターン2（証券市場線、ベータ、マーケット・リスク、CAPMなど） 【前・後】 配布資料の予習復習に4時間 第8回 【授】 リスクとリターン3（リスクヘッジなど） 【前・後】 配布資料の予習復習に4時間	第9回 【授】 資金調達と企業価値1（株式、負債など） 【前・後】 配布資料の予習復習に4時間 第10回 【授】 資金調達と企業価値2（MM定理、レバレッジなど） 【前・後】 配布資料の予習復習に4時間 第11回 【授】 資金調達と企業価値3（WACCなど） 【前・後】 配布資料の予習復習に4時間 第12回 【授】 資金調達と企業価値4（DCF法、倍率法など） 【前・後】 配布資料の予習復習に4時間 第13回 【授】 利益還元1（配当と企業価値など） 【前・後】 配布資料の予習復習に4時間 第14回 【授】 利益還元2（自社株取得と企業価値など） 【前・後】 配布資料の予習復習に4時間 第15回 【授】 全体のまとめ 【前・後】 配布資料の予習復習に4時間 第16回 【授】 定期試験 【前・後】 配布資料の予習復習に4時間
--	---

成績評価方法

【成績評価】 定期試験 90%、小テスト 10%の割合により評価する。
 【フィードバックの方法】 随時行う小テストにおいて誤りがあった箇所について、解説を行う。

教科書・参考書

配布資料

受講に当たっての留意事項

欠席5回以上は成績評価しない。

実務経験のある教員による授業科目有無	実務経験と授業科目との関連性	アクティブラーニング（ディスカッション、グループワーク、発表等）の実施
○	証券会社において、株価算定を含む企業審査業務に従事。	×

学習到達目標

企業価値を評価できるようになる。

JABEE

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習